



講師が自治会や事業所、学校などに
出向き、内
容に合わせ
た説明をし
ます。



誰が・どこで教え
てくれるの??



学習会では何を教
えてくれるの??



環境学習会を実施しているま
ごみ減量の取り組みとして環境学習会を実施していま
す。ごみの出し方について、改めて考えてみましょう。

環境学習会を実施しているま
ごみ減量の取り組みとして環境学習会を実施していま
す。ごみの出し方について、改めて考えてみましょう。

その他の学習会のおすすめ情報

- 公益財団法人淡海環境保全財団
温暖化防止の出前講座を実施
- 生物多様性保全活動支援センター
新たな活動への参加を検討している団体や企業な
どへ専門家の紹介を実施



こっちも活用
してみてください!

まずは環境政策課まで
相談ください。

学習会を希望する
場合は、どうした
らいいの??



可燃ごみ搬出量

現在、三重県の民間ごみ処理業者へ委託して焼却処分
しています。ごみの量に応じてごみ処理費用を負担するこ
とになりますので、ごみの分別や減量にご協力ください。

測定月	収集量
令和2年8月分	1,178t
令和3年8月分	1,227t (前年比49t増)



安全安心

交通事故発生状況

高島警察署 (22)0110

(令和3年8月末現在)

内容	件数	前年比
人身事故発生件数	65件	+28件
死者数	3人	+3人
傷者数	92人	+39人

発生場所	件数
マキノ	7件
今津	15件
朽木	5件
安曇川	17件
高島	14件
新旭	7件

※概数



火災・救急・救助件数

消防総務課 (22)5401

(令和3年8月末現在)

火災	件数	累計(1月~)
建物	0件	3件
車両	0件	1件
林野	0件	1件
その他	0件	8件

救急	件数	累計(1月~)
交通事故	12件	91件
一般負傷	31件	270件
急病	155件	1236件
その他	29件	207件

救助	件数	累計(1月~)
火災	0件	0件
交通事故	0件	8件
水難事故	0件	1件
その他	2件	10件

環境放射線測定結果

原子力防災対策室 (25)8133

8月平均値(平日測定) 前月平均値

マキノ(マキノ支所前駐車場)	0.062 μSv/h	0.070 μSv/h
今津(今津支所車庫付近)	0.037 μSv/h	0.038 μSv/h
朽木(朽木支所前駐車場)	0.057 μSv/h	0.059 μSv/h
安曇川(安曇川支所南側駐車場)	0.046 μSv/h	0.047 μSv/h
高島(高島支所東側駐車場)	0.054 μSv/h	0.062 μSv/h
新旭(高島市役所本館北側駐車場付近)	0.044 μSv/h	0.052 μSv/h

※測定地点は他に24か所あります。測定結果は、市のホームページをご覧ください。
※日本での自然放射による時間線量の通常の値はおおむね0.2μSv/h以下です。

たかしまLIFE!!

市民協働課 (25) 8 5 2 6

わたし流、
やんかしまの暮らし。

「娘を自然の中で育てたい」
松村 貴志 さん ご一家



さすが料理人!
おしゃべりな一品です

たかしまへ移住(1・J・Uターン)された方に、インタビュー!

自然豊かな土地へ移住できたらいいねと以前から考えていましたが、大きな夢に終わりそうでした。しかし、「娘を自然の中でびのび育てたい!」と思い、娘の小学校入学をきっかけに移住を決意し、いろいろな場所を探してみました。

その中で、高島市の情報を得て、いろいろな方と知り合いました。豊富な自然、人の優しさ、温かさに感激し、「ここだ!」と思い、移住を決めました。

これから家族3人で新たな発見をしながら、今まで以上に楽しい生活を送っていきたいと思います。

最後に、私たちは料理人です。高島の方にいただいた恩を「食」を通してお返ししたいと、今から腕がうずうずしています。

恵みの秋を迎えて

長引くコロナ禍の影響で今年も庁舎内で執務をする時間が多く、外出する機会といえば自宅から市役所への通勤ぐらいという日々を送っていますが、そのようなわずかな時間の中でも、朝夕の空気が肌寒く感じ、黄金に輝く稲穂のようすを目にするにつれ、季節の移ろいを実感したところです。

9月は市内各地で多くの生産者の皆さんが、天気の合間を縫うように稲刈り作業を行われる姿が見られ、大型機械により効率よく刈り入れが進められる水田もあれば、棚田のように小區画で山の斜面に作られた複雑な形の水田では、人の手による刈り入れにご苦労されたものと思います。

畑や鵜川の棚田では、毎年、市内外のボランティアの皆さんと稲刈り作業が行われていると聞いておりますが、市内では高齢化等により農業の担い手不足や農地の荒廃が進んでおり、棚

田をはじめとした中山間地域ではより一層深刻な問題となってきました。

そうした中、令和元年の「棚田地域振興法」成立は、棚田地域の保全活動を後押しし、地域コミュニティの活性化はもとより、美しい農村の原風景や伝統文化の継承など、棚田の持つ多面的機能に改めて目を向ける契機となっています。

令和4年には高島市を開催地とした第27回全国棚田(千枚田)サミットが予定されています。棚田は豊かな自然が織りなす高島の景観を構成する重要な要素であり、また、棚田保全に取り組み機運を今後さらに醸成していきけるよう、サミットの成功に向けた準備を進めていきます。

福井 正明

第26回全国棚田(千枚田)サミット【山形県大蔵村】の動画はこちらから↓



市長雑記

